

# 民主島根

2018年  
**2.4**  
第1304号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444  
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

## 原発ゼロ、米軍機低空飛行中止など 党県委が10省庁に対し政府交渉

### 仁比参議員、大平前衆議員、党地方議員ら15名が迫る



申し入れ書を手渡す尾村氏と(右へ)大國、仁比、大平の各氏ら  
(写真上=参院議員会館)  
活断層の徹底調査を求める参加者(写真右下=原子力規制委)

日本共産党島根県委員会は1月15、16の両日、国会内で政府交渉し、10省庁に48項目の県民要求を申し入れました。尾村利成、大國陽介両県議、各市議ら15人が参加。仁比そうへい参院議員、大平喜信前衆議員が同席しました。

島根原発の問題では、原子力規制委員会、経済産業省に対し、宍道断層と鳥取沖西部・東部断層との連動性など活断層の徹底調査を中電に指示し、基準地震動(耐震設計の基準となる地震の揺れの大きさ)を厳正に審査することや、再稼働中止と核燃料サイクル政策からの撤退を求めました。担当者は、中電に様々な追加調査を求め、審査

してきたと述べ、「新しい知見も含め、慎重に評価していく」と答えました。防衛、外務両省には、米軍機による無法な低空飛行・フレア訓練の中止、航空自衛隊美保基地へのC2輸送機、空中給油機の配備中止を要求。「岩国基地への空母艦載機移駐や美保基地の機能強化によって住民の安全が脅かされ、被害発生が不安が

### 大田市議選 大西・亀谷氏必勝へ 仁比参議員

日本共産党中部地区委員会では1月21日、仁比そうへい参院議員を迎え、大田市で演説会を開きました。(写真)

仁比氏は「安倍政権は国民に背を向ける亡国の

高まっている」と指摘し、「日米軍事一体化の推進は、北朝鮮情勢の軍事的緊張を高めることになると訴えました。」

医師確保対策などを厚生労働省や内閣府、全国学力テスト中止を文部科学省、水道料値上げ抑制を総務省、農業再生を農林水産省、地域公共交通の維持を国土交通省にそれぞれ要請しました。

日告示の同市議選で現有2議席確保をめざす現職の大西修市議と新人の亀谷優子さんの勝利で「県議選と参院選の勝利への大きな流れを大田からつくっていきましょう」と呼びかけました。

### 江津 共産党を躍進させる1年に 新春の集い 仁比参議員が訴え

日本共産党江津市委員会は1月21日、仁比そうへい参院議員を迎えて新春の集いを開きました。(写真)

仁比氏は、9条改憲に国民の約7割が反対し、自民党員も半数以上が反対していると指摘。「国民の意思を無視することは許せない」という共同の力をもっと大きくしていくことが必要です」と訴えました。



安倍首相について「憲法を尊重し、擁護しなければいけない立場でありながら、憲法を踏みなら

り、破壊する独裁者だ」と告発。「共闘の力を大きく広げ、安倍政権と正面から対決する日本共産党を躍進させる1年にしよう」と呼びかけました。

森川佳英、多田伸治両市議が決意表明。地元の踊りも披露されました。

### 医師確保、地域振興など懇談 党県議団 江津・大田市長と

日本共産党県議団は1月24、25の両日、江津市の山下修市長、大田市の楳野弘和市長と、それぞれ懇談し、地域振興や地域医療などについて意見交換しました。



大田市の山下市長は、地場産業を支援するために「誘致企業に地元雇用や地元業者の取引をお願いしている」と述べ、再生可能エネ

ルギーの促進を含め、地域経済の好循環をつくっていきたくと話しました。(写真上)

大田市の楳野市長は、2020年5月開院予定の市立病院の新病院建設について「整形外科の問題は不在など懸念だと思っ

### 鼓動

節分の夜、小さな黒才二と女の子との交流を描いた『おにたのぼうし』という絵本がある。優しい黒才二を柔らかいタッチの水彩画で描いたのは、画家のいわさきちひろ。今年、いわずさきちひろ生誕100年。各地で展覧会が開かれるなど注目を集めている。▼

ちひろは自伝的絵本『わたしのえほん』で、炎の海を逃げ惑った空襲体験を描いている。戦後、「二度と戦争を起さずしてはならない」と決意し、日本共産党に入党。ちひろは「戦争に反対して牢に入れられた人たちのいたことを知りました。大きい感動を受けました」と語っている。▼

後年、あるカトリックのシスターがちひろに尋ねた。「あなたは共産党員なのにどうしてこんな美しい絵が描けるのですか」。ちひろは答えた。「共産党員だからこそ描けるのです」。最近、ちひろの人生を丹念に取材した漫画家のワタナベ・コウさんは「ちひろのやさしい絵が、才能のみで描かれたものではなく、共産党員として理性を重んじ、人間を信頼したことで、やさしさを絵に表現できるようになっていった」と紹介している(月刊学習 2月号)。

▼アメリカのベトナム侵略が激化するなか、ちひろは『戦火のなかの子どもたち』を描き侵略戦争に反対。夫の松本善明元衆議議員は「ここに絵筆をもった革命家の姿がある」と述べた。翌年、ちひろは死去。

▼小学校の読み聞かせボランティアで『おにたのぼうし』を読んだ。ちひろの絵を子どもたちと一緒に見つめ、ちひろが生涯をかけた戦争反対のたたかい、安倍9条改憲を許さないたたかいへの決意を新たにしたい。(後)